



今回披露されたオリジナル料理の数々。どの料理にも川根茶や地元の野菜などがふんだんに使われていて美味。今すぐメニューに載ってもおかしくない料理ばかりだ。

1 わっしょい鍋 2 茶がゆ 3 茶しゃぶしゃぶ 4 抹茶茶碗蒸し 5 きのご汁 6 茶飯 7 田舎こんにゃく

長年の希望がかない、耐震化を含む園舎改築工事が完了

さゆり幼稚園改築完了 新園舎に高らかな歌声響く

学校法人かわね学園さゆり幼稚園は川根地域唯一の幼稚園。
長年の懸案だった耐震化を含む改築工事が完了、このほどお披露目されました。
3月7日に開かれた、新園舎落成を祝う記念式典・コンサートをレポート。

this month
HighLight
5
今月の注目

学校法人かわね学園さゆり幼稚園では新園舎の落成を祝う、記念式典・コンサートを開き、保護者や園児、地域の人々ら約100人が集いました。

長年の課題となっていた園舎の耐震化。県や町から補助を受けることで実現しました。これまで園庭として使用していた敷地に、三角屋根が特徴の、木の香ただよう温もりあふれる建物が完成しました。

記念式典は3月7日の午後、同園松下のぞみ教諭が奏でるオルガンの調べで幕を開けました。松下正巳理事長による新園舎建設の経過報告が述べられたあと、工事施工業者や関係功労者に感謝を込めた記念品や感謝状が贈られました。

来賓として出席した佐藤公敏町長は「長年の懸案だった耐震工事が完了し、本当にうれしく思います。園児たちには、園の内外で自然と触れ合い、自然への感謝や探求心などをはぐくんで欲しい。幼児教育に力を注いでいるさゆり幼稚園を、町としてもできる限り応援したい」と祝辞を贈りました。また同じく来賓として出席した中澤智義議員は「わたしが耕作する茶畑が園のすぐ隣に

さゆり幼稚園園長
松下文江さん

当園を開園して50余年、幼児たちと過ごす幸せを感じながら毎日を過ごしてきました。大人の都合ではなく、「子どもたちの幸せ」を最優先し、皆さんに感謝しながら、すこやかな幼児教育を目指していきたいと思っております。

あり、作業のおりには園児たちの元気な声が聞こえ、ほほ笑ましく思っていました。松下園長を始めとする関係者の皆さんは、幼児教育に献身的な努力をされています。これからも、精一杯応援していきたい」と祝いの言葉を述べました。

このあと開かれた落成記念コンサートでは、ソプラノ歌手の松下のぞみ教諭と西野真理さんの高らかな歌声が、海野知子さんのトランペット、奥田和さんのピアノの調べに乗って、館内いっばいに響き渡りました。

保護者の皆さんなどで構成するさゆり合唱団&コーラスリベールテによるハーモニイも披露され、来場者全員が喜びのムードに染まりました

this month
HighLight
4
今月の注目

観光客誘致を図るため名物料理を創り出す

寸又峡の新たな「旨い」 オリジナル料理7品試食会

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合では、寸又峡ブランドの魅力アップのため、オリジナル料理の試食会を開催。約20人の参加者が舌鼓を打ちました。地元の食材もふんだんに使われた、魅力あふれる創作料理の数々を紹介します。

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合（望月孝之理事長）は3月3日、寸又峡ブランドの育成をテーマとしたオリジナル料理の試食会を寸又峡公民館で開催しました。

同組合では、大井川鐵道と連携した観光客誘致の取り組みを推進しており、本事業もその一環として開催されたもの。

あらかじめ候補として出品されていた料理20品から、特に郷土色が濃く、寸又峡のイメージにふさわしいと思われる料理が、最終候補に挙がっていました。

試食会には、同組合の組合員や大井川鐵道関係者、中部地域支援局職員など約20人が参加。テーブルに並べられた色とりどりの料理7品を試食しました。

そば粉で作ったワントンが特徴のわっしょい鍋や手作りの田舎こんにゃく、味噌の香りが食欲をそそるきのご汁、川根茶を使った茶飯など、どの料理にも地元の食材がふんだんに使われ、古里をイメージさせる懐かしい味に仕上げられています。

試食した参加者からは「どの料理もここならではの逸品。ネーミングに一工夫することで、より寸又峡らしさが表現できるのでは」「作った人の温かさが感



寸又峡温泉公民館の2階で実施された試食会。テーブルいっばいに広げられた料理の数々に、参加者たちが舌鼓を打つ。

じられるおいしさ。食器などに気を配れば、もつと料理の価値が高まるだろう」などの意見が出されました。

出品された7品のオリジナル料理は、今回の意見などを参考に、組合側で検討・研究を重ね、寸又峡の名物料理としての定着を目指します。

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合
望月孝之 理事長

寸又峡に訪れたお客さんから「この名物は何ですか」「何がおいしいですか」と良く聞かれます。そんなとき自信を持って答えられるような名物料理を創りたい。今回出品された料理の数々は川根茶や地元の野菜など、地場の物がふんだんに使われています。いずれは寸又峡だけでなく、本町全体・奥大井全体の名物料理として定着していけばと期待しています。